



# すずかけの木

学校教育目標

○こころの豊かな子

○すすんで学ぶ子

○たくましい子

## 新年に誓う今年の計

校長 たかの あきひと 高野 明人

「学を好む者は死すといえども存するがごとく、学ばざる者は存すといえども行屍走肉のみ」(拾遺集)※行屍走肉・・・才能や学問もなく、何の役にも立たない無能な人のたとえ

千年以上前にこのようなことを言う人がいたのは驚きですが、我々教師は胸に刻んで教壇に立たなくてはなりません。これも教育の不易の一つなのでしょう。

新年明けましておめでとうございます。今年度も本校教育活動への御理解・御協力の程宜しくお願いいたします。現在、世界中で日本だけがコロナウィルスの感染状況が落ち着いているという不思議なことになっています。その中で、オミクロン株が今後どこまで広がるのかわかりません。昨年度の教育活動をさらに発展させ、平時に近いものにできればと考えています。

以下の3点を一年の計とします。(元旦に考えました。)

○学校行事を正常な状態に戻します。

今年度はコロナの影響で予定があつてないようなものでした。旅行的行事に関しては、全校徒歩遠足と6年生修学旅行のみ計画通りの日程でした。

○日課表を変えます。

冬季は日が短く下校が心配なので、木曜日の実質7時間授業をなくします。その代わり月曜日を6時間授業にします。

○北河原小からの編入生を温かく迎えます。

複式学級解消のために4月から十数名の新たなお友達を迎えますが、大人数に戸惑うことのないよう南河原小に来てよかったと思ってもらいます。

## こころの豊かな子

学校教育目標です！

12月の終業式で2学期に校長が児童のみなさんから学んだこと(心を揺さぶられた)2つの例をお話ししました。こころの豊かな子が育っています。

先生はこの2学期に「心の豊かな子」の行動を2つ見た。その時、凄くうれしくて、自分のこころがなんていうかな？揺さぶられたんです。一人目は校内持久走大会がありましたよね。これは見た人もいるかな？6年生の競争の時、レースが始まって、しばらくするとアクシデントがあつて、ふらふらになって今にも倒れそうに走っていた人がいました。すると、後ろから来た子が、その子の方を抱きかかえて声を掛けて、しばらく一緒に走ってあげました。先生には聞こえなかったけど、大丈夫！頑張ろう！とか言って励ましてくれたのかなと想像します。持久走は苦しいですね。そんな時に人を助けられますか？先生はできないかもしれない。だから、すごくうれしかったのです。二人目、これは最近なんですけれど、5年生の道徳の授業をみていました。授業の中で先生が質問しますよね。みんなそれを聞いて考えて発表するんですけど、その学級には外国から転校してきて、あまり日本語が得意でない人がいました。その時、先生が質問する度に近くの席のある子が助けてあげているんです。ああ、こんなやさしい子がいるんだと思って、凄くうれしくなりました。この2つの出来事と二人の素晴らしい心の豊かな子に先生は心を揺さぶられました。あなたは同じことができますか？って。みなさんから教えてもらうこともあるんだなって改めて思いました。みなさん、もっともっと、私の心を揺さぶってください。(令和3年12月24日(金)終業式式辞より)

※topics(とぴくす) ◎体育館の非構造部材の耐震化工事が完了。

◎ワクチン接種の正しい理解のために、QRコードから確認ください。→

◎6年生の社会科見学が1月26日(水)に正式決定しました。

